

会 議 録

会議名		令和 7 年度 第 3 回 星が丘地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)		中央区役所 中央 6 地区まちづくりセンター 電話 0 4 2 - 7 0 7 - 7 0 4 9 (直通)		
開催日時		令和 7 年 9 月 2 0 日 (土) 午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 5 0 分		
開催場所		星が丘公民館 コミュニティ室		
出席者	委 員	1 4 人 (別紙のとおり)		
	その他			
	事務局	4 人 (中央 6 地区まちづくりセンター所長ほか 2 人、地域活力推進員 1 人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可 の場合は、その理由				
会議次第		1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 地区まちづくりを考える懇談会について (2) 星が丘地区の課題について (3) 星が丘地区内各所の視察について (4) 地域を知り利用し皆友達プロジェクト (地域活性化事業交付金) について (5) 星が丘地区第 4 8 回ふるさとまつり・ 第 1 5 回ふれあいフェスティバルの進捗状況について (6) 星が丘地区風景の記録写真における観測地点について (報告) 4 その他 5 閉 会		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

(○は委員の発言、□は申請団体の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 地区まちづくりを考える懇談会について

竹田会長から、地区まちづくりを考える懇談会（以下、懇談会）について資料に基づき説明し、昨年同様自治会長も当日の懇談会に出席することが周知された。

また、若山委員にテーマの概要及び地域での取組状況等の説明台本を音読してもらい、委員に意見を募った。

<主な意見・質疑>

○説明台本の冒頭に、今回のテーマ「公民館を拠点として多くの住民が集うまちづくりについて」にいたった背景も追記したい。このテーマは外国人や障がい者も含めて地域の住民同士が皆友達になって欲しい、という考えが基にある。そう考えた背景には、例えば、令和元年に発生した台風19号により川崎市にあるタワーマンションが浸水した際に、浸水被害をあざ笑う風潮があったことや、今回の参議院議員選挙においてSNSで外国人を排除するような投稿があったこと、さらには津久井やまゆり園で起きた痛ましい事件等、社会的にも様々な分断が生まれている。この分断を防ぐ・解決するためにも、お互いが理解し、認め合い、友達になれる関係性が理想であることを伝えたい。

○以前、公民館の利用者数について個人的に調査したことがある。その結果、発表している利用者数は数万人でも、重複した人を省くと500人程しか利用していなかった。星が丘地区人口の約3%であり、常連が何度も公民館を利用している実態だった。

⇒○星が丘地区だけでなく、どこの公民館も同じ実情だと思う。公民館だけでなく、スポーツ施設も同様と思われる。

○公民館に行って何をするのか驚かれたことがあり、多くの人は公民館事業に参加することを考えていないようだった。同じ人が事業を考えていても限度があるため、新規の利用者を増やすためにも、指定管理者制度といった新しい視点を取り入れることも一つの方法と考える。

⇒○指定管理者制度では、例えば、民間のスポーツジムより若干安く講義を実施することが出来るので、公共施設を使って民営圧迫という問題が出てくることは否め

ない。

○星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバルは今まで顔を見たことがない人も足を運んでくれている。小学校の校庭で実施するのではなく、公民館内で実施したら、新規の利用者が増えるのではないか。

⇒○公民館まつりとして実施している。

⇒○公民館まつりは利用者サークルが主体となっているので、普段利用していない団体も参加できるようにしたら意味合いが変わると思われる。

<結果>

懇談会の役割は以下のとおり決定した。

役割	担当者
司会	八木委員
開会のあいさつ	坂本副会長
議長	竹田会長
テーマの概要及び地域での取組状況等の説明	若山委員
閉会のあいさつ	後藤副会長

(2) 星が丘地区まちづくりの課題について

【持続可能な事業・団体運営について】

○今まで資源回収を行っていた子ども会が解散したため、地域の高齢者で4月から資源回収を実施している。一生懸命取り組んだが、振り込まれた奨励金は少なく感じた。

○資源回収は子どもの教育上必要な取組である。

【安心・安全関係について】

○災害時用井戸の設置工事に向けて、住民説明会を開催した。正式に地域からも了承を得られたので、現在業者に発注をかけている。

⇒○住民説明会では何を説明したのか。また、出席者はいたのか。

⇒○工事の概要や費用について説明した。50～60名程が出席し、中には初めて見る顔の人もいたので、自治会に加入していない人もいたと思う。「大地震が発生したら井戸が崩れるのではないか」、という質問が一番多かったが、業者から堅井戸だから心配はないだろうと聞いている。

（３）星が丘地区内各所の視察について

事務局から、星が丘地区内の視察について、資料に基づき説明した。

また、竹田会長から１１月１４日（金）を実施日として、委員に出席状況を確認したところ、参加可能が３名、不参加が５名、不明が６名だったため、視察は実施しないことが決定された。

（４）地域を知り利用し皆友達プロジェクト（地域活性化事業交付金）について

申請団体から、「地域を知り利用し皆友達プロジェクト」について、資料に基づき説明した。

- ・申請団体名：ビー フレンド
- ・事業名：地域を知り利用し皆友達プロジェクト
- ・事業目的：公民館の敷地内で障がい者施設や外国人、地域住民が販売会を実施することで、販売者と購入者の交流や販売者同士の交流を深めてもらうとともに、販売会をきっかけに多くの人が気軽に公民館へ足を運んでもらうことを目的とする。
- ・事業内容：近隣の社会福祉法人等の公共的な団体や地域住民と連携し、当該施設で作られた小物・食べ物あるいは地域の家庭菜園で収穫されたものや不用品等を販売する販売会を実施する。
場所は公民館の出入り口横の軒下部分とし、机２台を並べ、周辺にのぼり旗を立てることで、販売会を周囲へアピールする。

<主な意見・質疑>

○公民館の外机は取り出しが難しいのではないかと。

⇒○以前よりも取り出しやすくしたので、問題ないと思う。

○地域活性化事業交付金を利用して、外倉庫に備えるスロープを購入できないのか。

⇒●用途が公民館の備品となるので、スロープの購入は難しいと思われる。

□具体的な販売品等の内容はこれから詰めていく予定である。もしも、食べ物をその場で食べたい要望が出れば、料理実習室を借りる等の対応をしていきたい。

○交流ラウンジでの飲食は禁止されているのか。

⇒○飲み物は良いが、食べることはゴミが出てしまうので許可していない。

○見積書と個票の費目が違うが、修正するのか。

⇒□デザインを１つの業者に頼むことになったので、費目の内容が変わってしまった。修正して提出する。なお、合計金額は変わらない。

<結果>

積極的採用とする。

(５) 星が丘地区第４８回ふるさとまつり・第１５回ふれあいフェスティバルの進捗状況について
竹田会長から、星が丘地区ふるさとまつり・ふれあいフェスティバルの進捗状況について、資料に基づき説明した。

また、事務局から１２ページのテント番号１５番の箇所で誤字があり、正しくは【24】であることを訂正した。

<主な意見・質疑>

特になし。

(６) 星が丘地区風景の記録写真における観測地点について（報告）

事務局から、星が丘地区風景の記録写真における観測地点について、資料に基づき説明した。

<主な意見・質疑>

○観測地点１の写真にある白い建物は既に取り壊されており、今後新しい家が３軒建てられる予定だと聞いている。この生垣がある街並みが残ってほしいという想いで選んだので、残念である。

４ その他

民生委員児童委員協議会の八木会長から、地域活性化事業交付金事業による「とっさの時の安心カード」のセットが配られた。民生委員児童委員協議会では８０歳以上の高齢者に配布し、８０歳未満の希望者には、地域包括支援センターあるいは地区自治会連合会事務局で配布していることを説明した。

５ 閉 会

以 上

星が丘地区まちづくり会議委員出欠席名簿

No.	団 体 等	代表者氏名	団体での役職	出欠席
1	地区自治会連合会	竹田 幹夫◎	会長	出席
2	公民館	後藤 陽子○	館長	出席
3	地区社会福祉協議会	坂本 洋三○	会長	出席
4	地区民生委員児童委員協議会	八木 鉄雄	会長	出席
5	地区青少年健全育成協議会	若山 美代子	会長	出席
6	星が丘小学校 P T A	岡本 浩三	会長	出席
7	青少年指導委員	高畑 由美子	地区長	出席
8	スポーツ推進委員	橋本 頼賢		出席
9	健康づくり普及員協議会	長塚 勇一郎	委員	出席
1 0	地区老人クラブ連合会	石黒 雄彦	会長	—
1 1	地域包括支援センター	柳下 恭子		出席
1 2	地区交通安全母の会	富倉 亜紀	会長	出席 (Zoom)
1 3	消防団第 4 分団第 4 部後援会	立山 均	会長	出席
1 4	交通安全協会星が丘支部	皆川 智明	副支部長	出席
1 5	公募	近藤 大助		出席 (Zoom)

※◎、○はまちづくり会議での役職（◎：会長、○：副会長）